

クラスの実態及び本日までの取り組み

<p>クラスの実態 (年長・年中の交流の経過)</p>	<p>本日までの活動の流れ 縦割りグループ あお組 (5歳児□□組 名 4歳児○○組 名 4歳児●●組 計 名)</p>
<p>〈7月上旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、年長児にお祭りごっこに招待してもらったことを思い出し、「年中さんと年少さんを招待したいという声があった。」</li> <li>・射的のやり方を教えてあげたり、「何味がいいですか？」と声をかけたりしながらかわり、年中、年少児が「本物みたい」「おいしそう」と言ってくれたことを喜び、嬉しそうにしている姿が見られた。</li> </ul> 	<p>〈10月中旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな友達とかかわりがもてるよう、縦割りのグループに分かれて活動することを伝え、「よろしくねの会」をした。</li> <li>・給食を縦割りグループにしたり、縦割りで活動する時間を作って、一緒にゲームをしたりしていった。また、遠足の話や地図を皆でしたり、地図を見たりして期待を膨らませていった。</li> <li>・地図を見ている中で、「たぬきのめいろ楽しそう!」「たぬきがいるのかな?」と、『たぬきのめいろ』に興味をもつ幼児が多かった。そこで、実際にめいろを作ってみることを提案すると、幼児達なりのたぬきのめいろのイメージをもって作り始め、遠足ごっこへとつながっていった。</li> </ul>
<p>〈9月下旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に向けての活動では、年中児と互いの遊戯を真似して楽しむ姿がみられ、年中児に「よさこいかわい」と言ってもらったことで自信をもち、ますます張り切って取り組むようになっていった。</li> <li>・運動会後には自分たちが取り組んだバルーンを教えたことで、年長としての意識が少しずつ生まれてきた。</li> </ul> 	<p><b>たぬきのめいろ</b>……………パンフレットに載っていた写真を見て、「めいろの中に人が入るんだよ!」と発見し、「大きなめいろを作りたい」という声が上がった。実際に遠足に行ってみるとめいろが木でできていることを知り、皆でめいろの周りに葉っぱを作った。貼る時には、両面テープをはがすのが難しい年中児に年長児が教えてあげる姿が見られた。</p>
<p>〈10月上旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよし給食では、初めは不安そうな様子も見られたが、入園したばかりの年中児の配膳を手伝いに行ったことが自信につながり、次第に一緒に給食を食べることを楽しみにして年中児の部屋に向かうようになっていった。</li> </ul> 	<p><b>どんぐりころがし</b>……………散歩で拾ったどんぐりを使って遊んでいる中で、「どんぐりころがしがめいろに似てるね」という声が上がった。実際にどんぐりころがしを作って遊んでいると、「このどんぐりをたぬきにしたらたぬきのめいろになるよ」とどんぐりに顔を書いてどんぐりたぬきを作る姿が見られた。</p> <p><b>たぬきのしっぽりレー</b>…たぬきのしっぽを作って遊ぶ幼児の姿を見た他の幼児が、「運動会でやったりレーみたい」という声上がり、遊びが始まった。年長児が「速く走るとしっぽがひらひら上に上がるよ」と気付いたことから、しっぽが地面につかないように走るというルールが決まった。</p> <p><b>キャタピラ</b>……………めいろ作りに使っていた段ボールの中に入って遊んだことから、「友達と一緒に入れるのも作りたい」とキャタピラ作りが始まった。</p>

## クラスの実態及び本日までの取り組み

クラスの実態 (年長・年中の交流経過)	本日までの活動の流れ 縦割りグループ きいろ組 (5歳児□□組 名 4歳児○○組 名 4歳児●●組 計 名)
<p>〈7月上旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年長児の夏祭りに参加したところ本物そっくりの屋台に驚いていた。その後刺激を受けてクラスでもお店屋さんごっこが始まった。</li> </ul>  <p>↓</p> <p>〈9月下旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年長組と一緒に練習していくうちに年長組の遊戯やリレーに興味を持ったり、憧れの気持ちを持って真似して踊ったり走ったりする姿が見られた。</li> <li>日を迫うごとに、年長組の友達の名前を覚えて「○○ちゃん頑張れー。」と名前を呼んで応援する姿が見られた。また、リレーやよさこいに興味を持ち年長児と踊ったり走ったりなどを楽しんだ。友達の頑張っている姿を認めたり、年長児に憧れの気持ちを持ったりする姿が見られるようになってきた。</li> </ul> <p>↓</p>	<p>〈10月中旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな友達とかかわりがもてるよう、縦割りのグループに分かれて活動することを伝え、「よろしくねの会」をした。</li> <li>給食を縦割りグループにしたり、縦割りで活動をする時間を作って、一緒にゲームをしたりしていった。また、遠足の話や地図を見たりして期待を膨らませていった。</li> <li>遠足の話から、「遠足行くにはバスが必要だね!」「バス停も作りたい!」という声や、地図を見ながら、「交番も作りたい」などといった声が上がった。そこで、「遠足にこんなのがあったら楽しいな」という遊びを皆で想像を膨らませながら作ってみる事を提案すると、「やりたい」との声が上がり、遠足ごっこへの活動へとつながっていった。</li> </ul> <div data-bbox="846 603 1037 692" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>バスごっこ</p> </div> <p>…「本物みたいに運転できるバスを作りたい!」などの声が上がった。どうしたら動くバスが作れるか、何色のバスを作るかなどを皆で相談したり、絵本に載っている絵を見ながら必要な物を作ったりしていった。幼児達と地図を見て、警察官になれるコーナーがあることに気付き、交番も作った。運転手と警察官のやり取りを年長児中心に皆で考えて、遊びを進めていった。</p> <div data-bbox="846 820 1048 890" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>りんごリレー</p> </div> <p>… 身体を動かす遊びを考えたところ「リレーをしたい」という声が上がった。どんなリレーにしようか皆で相談し、遠足にはリンゴの木がいっぱいあることに気付き、りんごリレーをすることが決まった。年長児を中心に指令書を書くなどして、遊びが広がっていった。</p> <div data-bbox="846 991 1048 1107" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>くさむら ジャンプ</p> </div> <p>… 今までの体を動かした遊びで経験したことのあるハードルをヒントにして、草を作り、くさむらハードル作りが始まった。「こんな大きな葉っぱができた!」という声が上がったり、葉っぱの貼り方が分からない友達に教えてあげたりする姿が見られた。</p> <div data-bbox="846 1182 1048 1315" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>なべなべ そこぬけ</p> </div> <p>… 「よろしくねの会」で遊んだ、なべなべそこぬけもコーナーにとりいれたいという声が上がった。人数を増やしていくやり方や、大きなフラフープをくぐるやり方などを体験し、「できた!楽しい!」という声や「たくさん友達とやりたい!」という声が増えていった。</p> <p>活動を進めていく中で、年長児に遊びのルールや用具の扱い方、イメージの広がり方、言葉のかけ方など、リードをしてもらいながら活動を進める姿が見られた。</p>
<p>〈10月上旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なかよし給食では、始めの内は、普段と違う環境で給食を食べるのに緊張する姿も見られたが、次第に会話を楽しみながら食事をしたことで親しみを感じ、年長児やと楽しみながら遊ぶ約束する姿も見られるようになった。</li> </ul> 	

## クラスの実態及び本日までの取り組み

クラスの実態 (年中・年長との交流の経過)	本日までの活動の流れ 縦割りグループ あか組 (5歳児□□組 名 4歳児○○組 名 4歳児●●組 計 名)
<p>〈7月下旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスでお店屋さんを楽しんでいたところ、年長児の夏祭りに参加することになった。そこで、本物そっくりの屋台の食べ物などを見て「本当に食べられるの？」と感動している姿が見られた。</li> </ul>  <p>↓</p> <p>〈9月下旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会への取り組みでは、日々、一緒に取り組んでいく事で自然と年長児の遊技や応援の仕方を覚え、見ているだけでなく、真似して楽しむ姿も見られた。</li> <li>・日を追うごとに、「○○ちゃん頑張れー。」と名前を呼んで応援する姿が見られた。また、「○○君は、走るの早いね。」「年長さんのよさこい、かっこいいよね。」など、頑張っている姿を認めたり、憧れの気持ちをもったりする姿が見られるようになってきた。</li> </ul>  <p>↓</p> <p>〈10月上旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよし給食では、始めのうちは、年長児の部屋に行ったり、自分のクラスで共に給食を食べたりする事に、緊張する姿も見られた。しかし、次第に会話を楽しみながら食事をしたり、遊ぶ約束をしたりする姿も見られるようになった。</li> </ul> 	<p>〈10月中旬〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな友達とかかわりがもてるよう、縦割りのグループに分かれて活動することを伝え、「よろしくねの会」をした。</li> <li>・給食を縦割りグループにして食べたり、縦割りで活動をする時間を作って、一緒にゲームをしたりした。遠足の話や皆でしたり、地図を見たりして期待を膨らませていったりもした。</li> <li>・遠足の話から、「カヌーって何だろう?」「ガリバーってどれくらい大きいのかな?」などの声が上がった。そこで、「遠足にこんなのがあったら楽しいな」という遊びを皆で想像を膨らませながら作ってみる事を提案すると、「やりたい」との声が上がり、遠足ごっこへの活動へとつながっていった。</li> </ul> <p>おもいかぬー</p> <p>… 「カヌーってオリンピックに出てたよ。」などの声が上がったが、イメージのわからない幼児もいた。すると一人の年中児が「カヌーの載ってる本があるよ。」と、絵本コーナーから“ねずみのいもほり”という本を持ってきた。その絵本を読むと、「この本を見ながら作るのはどう?」と掘ったおもいを参考にしながらおもいかぬー作りが始まった。</p> <p>おとあてくいず</p> <p>… 遠足で拾ったどんぐりや、園庭で拾った木の実をカップに入れ、楽器として遊んでいた。次第に「これは、どんぐりの音かな?」と、音をあてる遊びが始まり、おとあてくいずへとつながっていった。</p> <p>ガリバーのあしあと</p> <p>… 皆でガリバーの話を読み、共通理解してから、ガリバーの大男の絵を皆で描いた。「私の足と比べると全然違う。」と自分の足と並べて比べる姿も見られた。「あしあとは、僕の背ぐらいじゃない?」と、年長児が床に寝そべって見本となり、一緒に足あとをビニールテープで作る姿が見られた。</p> <p>どんぐりばくだんころがし</p> <p>… ばら組で遊んでいたどんぐり転がしがヒントになり、年長児を中心に空き箱や段ボールを使ってダイナミックなどんぐり転がし作りが始まった。</p> <p>活動を進めていく中で、年長児に遊びのルールや用具の扱い方、イメージの広がり方、言葉のかけ方など、リードをしてもらいながら活動を進める姿が見られた。</p>